山梨県　南アルプス市　子育て支援センター『蔵』

KU・RA

『設計コンセプト』

敷地は山梨県南アルプス市の東側（旧白根町）西野に位置し、農家が多い地域、敷地周辺には特にサクランボ農家が数多く点在、地域の主力産業である。この古民家は、この地域の庄屋として農家の中心的な役割を担った由緒ある家である。江戸天保の時代の約１５０年の建物で、茅葺で文化的にも、古き日本の原風景を残している。この建物を最大限生かすため、地域に住む子育て家族の支援や民泊、地域住民のコミュニティとしての子どもたちの食糧支援・コミュニティの災害時のレジリエンス・子ども食堂の機能を持たせ、人と人との交流を深めることができる地域の包括福祉の拠点とする。
山梨県は空き家率21%と日本一、地域の大きな古民家は歴史的にも文化的にも日本の原風景、地方社会の再生は　農業と地域のコミュニティの再生である、古民家を核とした地域福祉コミュニティの新しいデザインの提案である。

『構成概念』

・５つの蔵、・敷地内には５つの蔵が存在　米蔵、みそ蔵、醤油蔵、農具蔵、物蔵　とそれぞれの用途であった、この蔵はすでに取り壊してあるが、新たな用途に変革し母屋を五つのゾーンとして　地域福祉の五つの『蔵』として生まれ変わらせる。
・建物は5つの福祉ゾーンに分かれる、蔵１：南アルプス市の子育て支援センター地域の子育て拠点　蔵2：農家を体験できる農福連携、子どもたちに古き日本を味わってもらう。　蔵3：子ども食堂　子どもたちが地域の食材で自ら調理するなど　地域のすべての子どもを対象とする　蔵4：食料支援所　地域農家や企業から食べるものにも困る子どもたちに食料をおすそ分けする。　蔵5：地域のレジリエンス拠点　既存井戸・かまど・薪で焚くヒノキぶろ・太陽光+蓄電池+EV+V2H　で災害時に子どもや高齢者や地域の人たち全員のレジリエンスとして地域コミュニティの核とする。
・日常的に地域の人々が集まる、子どもから高齢者まですべての人々が利用できる、多機能な福祉コミュニティを目指す。地域との接点は東屋で野良仕事中の井戸端会議の場所として日常的に地域の農家に開放、北側レジリエンスは餅つきやみそづくりなど、地域の農家も現在では行わなくなった日常をとりもどし共同共助といった地域のイベントを開催する。蔵4の食糧支援所は農家よりコメや野菜を提供していただく、土間には食品貯蔵庫(室）があり、みそや漬物を保存、蔵3でこの食材を使い子どもたちが料理、地産地消による地域循環型社会（SDGｓ）地域コミュニティの核とする。

蔵1：子育て支援センター
20畳続き間　畳

・さまざまな親子が集う地域の子育て拠点
・みんなのギャラリースペース
・多様な地域資源とつながりながら子育て中の親子家族がさまざまな体験ができる中で心も体も健康に過ごせる場所

蔵2：農福連携
18畳続き間　板の間

・移住者と農家のマッチング
・実習生などが古民家の生活を体験しながら事業に関われる
・みんなのギャラリースペース
・縁側と庭が一体となり子どもたちは古き日本を味わう
・障害者と農家のマッチングが自然な形で行える農福連携拠点

蔵3：子ども食堂
２０畳　板の間+デッキ

・すべての子ども達が利用できる子ども食堂
・子ども達が自ら調理
・壁ギャラリースペース
・コワーキングスペース
・デッキで食事　カフェ
・天井は小屋組み表し

蔵4：食料支援所
１５畳たたき

・地域の農家が規格外の果物野菜を供給
・大手量販店からの提供品
・壁ギャラリースペース
・床下に室　保存食利用
・天井は茅葺を表し

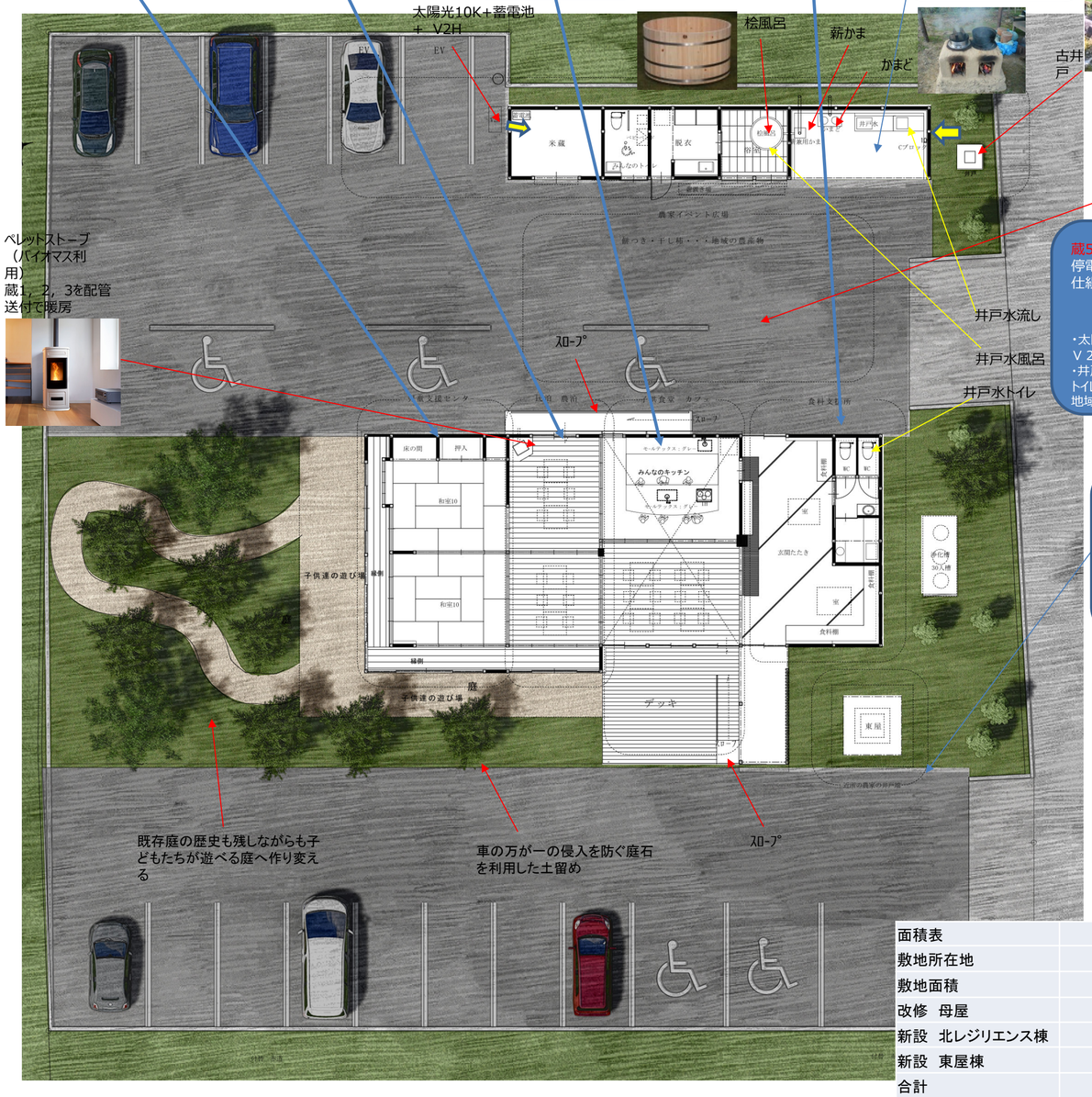
蔵5：地域レジリエンス
地域材で作る建物
イベント広場

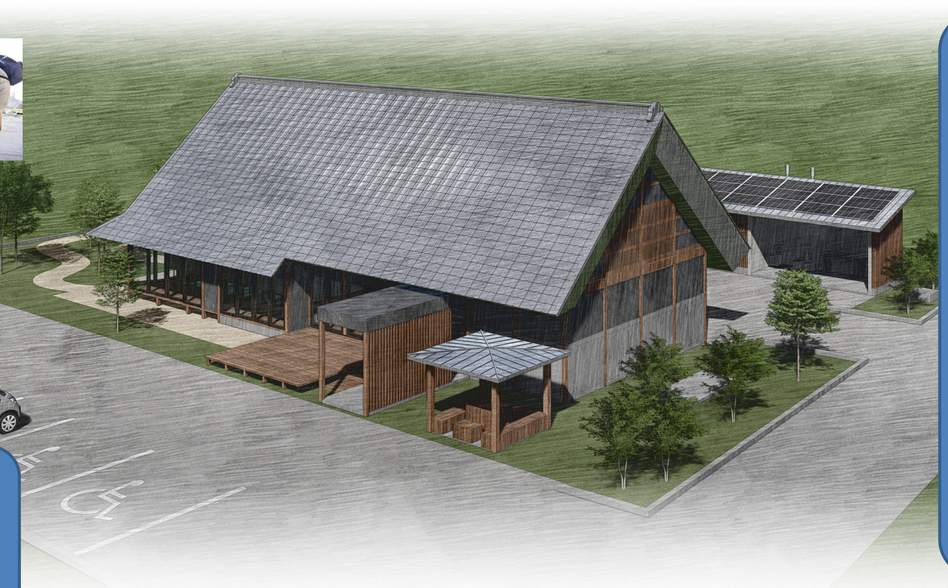
・山梨県産材で作る建築
・地域コミュニティ
井戸水・太陽光自給電気・かまどで炊き出し　薪風呂で地域の古き日常を復活
・餅つき　みそづくりなど地域みんなで作る

現況外観

現況土間

現況小屋裏　大国柱





蔵5：地域レジリエンス
停電・断水時地域を支える仕組み

・太陽光発電10ｋ+蓄電池+Ｖ２Ｈで停電時自給
・井戸水で断水時自給電気でトイレも炊事もお風呂も可動
地域コミュニティのレジリエンス

蔵5：地域レジリエンス
東屋

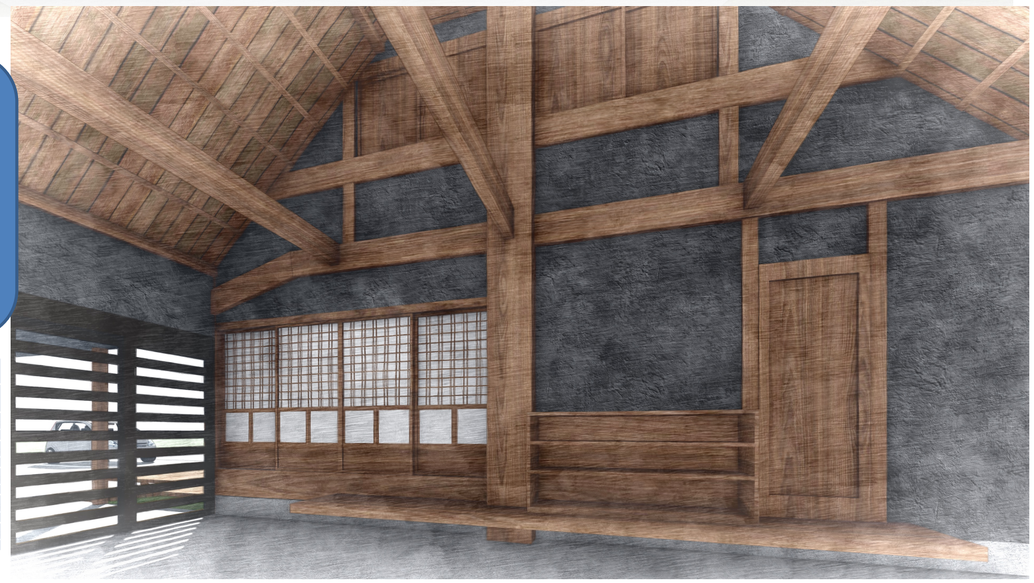
・地域コミュニティ東屋
地域の農家が野良着で集まる井戸端会議場
・行きかう農家たちが声をかけ呼び水の役割とする

建物の外観
外装の再生+新たな機能五つの蔵を取り込むデザイン

・江戸天保の時代に建てられた建物は増築改修を繰り返している　できるだけ原型に近いものに再生改修する
・茅葺屋根に板金　壁は蔵をイメージして黒漆喰で塗る柱や木製の格子は時間の経過を感じさせる色として　古き時代の蔵を感じさせるものとする
・玄関前の壁洗い出しは残し東側も同様に古き仕上げ見せる
・北側レジリエンス棟と東屋は地域材100%の木材で母屋同様古色に仕上げる
・アプローチはみんなが雨宿りできるスペース　子どもから高齢者までが安心
・庭は古い木や石をのこし子どもたちが多様に表情を変える自然物と関わりあえる庭として生まれ変わらせる

建物内観
・内部は：蔵４の食糧支援所の天井は吹抜け江戸時代からいぶされた真っ黒な茅葺を表し見せる
・蔵3の子ども食堂は　その天井を吹抜き大きく真っ黒くいぶされた梁組を見せる
・子ども食堂キッチンは子ども達がみんなで調理できる丸くなった　モールテックスで造作したキッチン

内装仕上げ
・外部同様　黒漆喰　と　黒くいぶされた梁　柱から構成
・内部建具は古い建具を補修し再生古き時代の様式を残す



面積表		
敷地所在地	山梨県南アルプス市西野1758	
敷地面積	1494.87㎡	452坪
改修　母屋	173.97㎡	52.6坪
新設　北レジリエンス棟	44.71㎡	13.52坪
新設　東屋棟	5.17㎡	1.56坪
合計	223.85㎡	67.7坪